

関西電力の金品受領問題—直ちには格付に影響せず

以下は、関西電力株式会社（証券コード：9503）における、社外関係者からの金品受領問題についての、株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社役員等が福井県高浜町の元助役から合計3億円超の金品を受領していた問題について、当社では18年9月に社内調査委員会による報告、19年10月に新たな第三者委員会の設置、また会長・社長の辞任といった対応をとってきた。現状では全容の解明には至っておらず、類似事案の有無やその規模、工事発注などの地元対応にかかる資金の流れについて、19年12月に予定されている第三者委員会の報告を待つ必要がある。
- (2) これまでに判明した金品受領の事実や、その後の社内・社外対応に関しては、コンプライアンスやガバナンスの観点からは問題が多いと認識している。一方で、こうした一連の事象による当社のキャッシュフロー創出力、資金調達などへの影響を、一定の確度をもって予見することは困難で、今般の金品受領問題が直ちに当社の信用力に影響を及ぼすとは考えていない。ただし、今後解明が見込まれる事象も含めて、原子力事業の運営や顧客基盤、さらには原子力政策等に及ぼす影響を中長期的な観点から慎重に見定め、必要に応じて格付に反映していく方針である。

(担当) 殿村 成信・青野 恭久

【参考】

発行体：関西電力株式会社

長期発行体格付：AA-

見通し：ポジティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル